

ユニテクス・プリントフィルタ UPF

PHOTO-MACHJET5 プリント・フィルタ

USERS MANUAL

株式会社ユニテクス・ジャパン

まえがき

本書は、PHOTO-MACHJET5 用プリント・フィルタプログラムについて記述したものです。

本マニュアルは、当社製品の SuperLayout（スーパーレイアウト）で編集し、印刷したものです。

* 本書中の社名や製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

ご注意

本書は著作権法の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、株式会社ユニテクス・ジャパンから文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

弊社はお客様の機器運用に関するいかなる損害の責任も負いません。

目 次

イメージ・フィルタ	1
1 使用方法	1
2 オプション	2
2.1 解像度	2
2.2 用紙サイズ	2
2.3 用紙方向	3
2.4 マージン	3
2.5 ハーフトーン	3
2.6 カラー	3
2.7 ガンマ補正	4
2.8 カラーバランス	4
2.9 コントラスト	4
2.10 彩度	5
2.11 明るさ	5
2.12 X方向スケール	5
2.13 Y方向スケール	5
2.14 フィット	6
2.15 X方向配置	6
2.16 Y方向配置	6
2.17 レイアウト	6
2.18 イメージ補正	7
3 使用例	7

イメージ・フィルタ

標準入力からのイメージデータに PHOTO-MACHJET5 のコントロールコードを付して標準出力より出力します。

1 使用方法

フィルタを使用してプリンタ (EPSON PHOTO-MACHJET5 シリーズ) へ、イメージの出力を行なうには以下のように行ないます。

lp (SVR4)	lpスプーリングシステム (その1)
OS	Solaris 2.X NEWS-OS 6.X EWS-UX11.X UnixWare 2.XJ EPSON日本語SVR4 SCO OpenServer
書式	<code>lp -d epm5i [-y オプション*1] イメージのファイル名</code>
lp (SYSV)	lpスプーリングシステム (その2)
OS	HP-UX9.0以上 IBM AIX 4.1以上
書式	<code>lp -d epm5 -o image [-o "オプション*2"] イメージのファイル名</code>
lpr (BSD)	BSD lpr
OS	SUN-OS 4.1.X NEWS-OS 4.X
書式	<code>cat イメージのファイル名 upfepm5if [オプション*2] lpr -Pプリンタ名</code>

注) プリンタ名は、「/etc/printcap」に登録された PHOTO-MACHJET 用のスルーエントリーに読み変えてください。



- *1 オプション書式は、本マニュアルの「lp 起動」を使用します。
 - *2 オプション書式は、本マニュアルの「直接起動」を使用します。
- ulp (UPF-Server) の場合は、本マニュアルの「直接起動」を使用します。

2 オプション 本フィルタは、以下のオプションにて各種設定を行なうことができます。オプションを省略したり、オプションの書式を誤った場合には初期値にて動作します。

2.1 解像度 解像度を設定します。

書式	直接起動) -r n1 lp 起動) dpi=n1
パラメータ	n1 = 360 (普通紙/スーパーファイン専用紙など) 720 (スーパーファイン専用紙などの高品位紙)
初期値	360 dpi

2.2 用紙サイズ 用紙サイズを設定します。実際に設定可能な用紙サイズはプリンタに依存します。プリンタのマニュアルをご覧ください。

書式	直接起動) -ps n1[xn2] lp 起動) paper=n1[xn2]
パラメータ	n1 : 用紙名称、または用紙の幅 n1 = A2 ... A2 A3 ... A3 A3+ ... A3ノビ A4 ... A4 A5 ... A5 A6 ... A6 B4 ... B4 B5 ... B5 LT ... Letter HLT ... Half Letter LG ... Legal EXE ... Executive GLG ... Government Legal GLT ... Government Letter B ... Ledger F4 ... F4 PCARD ... はがき MON ... Monarch C10 ... Commercial 10 DL ... DL C5 ... C5 w ... 幅 [w= 実数(単位ミリ)] n2 : 用紙の高さ n2 = h ... 高さ [h= 実数(単位ミリ)]
初期値	A4

2.3 用紙方向 用紙方向を設定します。

書式	直接起動)	-po n1
	lp 起動)	landscape
パラメータ	n1 = 0	... ポートレイト（縦置き）
	1	... ランドスケープ（横置き）
初期値	ポートレイト	

2.4 マージン トップ、ボトム、レフト、ライト・マージンを設定します。

書式	直接起動)	-pm n1 n2 n3 n4
	lp 起動)	margin=n1:n2:n3:n4
パラメータ	n1 = n	... トップ・マージン [n= 実数（単位ミリ）]
	n2 = n	... ボトム・マージン [n= 実数（単位ミリ）]
	n3 = n	... レフト・マージン [n= 実数（単位ミリ）]
	n4 = n	... ライト・マージン [n= 実数（単位ミリ）]
初期値	トップ/レフト/ライト・マージン 各 5 mm
	ボトム・マージン 1 7 mm

2.5 ハーフトーン ハーフトーン処理を選択します。

書式	直接起動)	-di n1[=n2]
	lp 起動)	dither=n1[=n2]
パラメータ	n1：ハーフトーン処理	
	n1 = 0	... 誤差拡散法（3x2）
	1	... 誤差拡散法（5x3）
	2	... 組織的ディザ法（ベイヤーパターン）
	3	... 組織的ディザ法（渦巻パターン）
	4	... ランダムディザ法
	5	... なし（閾値使用）
	n2：閾値	
	n1 = n	... 閾値 [n=実数（0.0～1.0）]
初期値	誤差拡散法（3x2）	

2.6 カラー カラーで出力するか、白黒で出力するかを選択します。

書式	直接起動)	-mo n1
	lp 起動)	mono=n1
パラメータ	n1 = 0	... カラー
	1	... 白黒
初期値	カラー	

2.7 ガンマ補正 ガンマ補正を行ないます。

書式	直接起動)	-gm n1[,n2,n3]
	lp 起動)	gamma=n1:n2:n3
パラメータ	n1 = n	... 赤またはグレーのガンマ値 [n=実数]
	n2 = n	... 緑のガンマ値 (省略時、n1 使用) [n=実数]
	n3 = n	... 青のガンマ値 (省略時、n1 使用) [n=実数]
初期値	1.0	

2.8 カラーバランス カラーバランスを調整します。フィルタに与える値が負 (-) の場合、色がうすくなります。フィルタに与える値が正 (+) の場合、色が濃くなります。標準は0です。

書式	直接起動)	-va n1[,n2,n3]
	lp 起動)	val=n1:n2:n3
パラメータ	n1 = n	... 赤またはグレーの調整値 [n=整数 (単位%)、-100から100]
	n2 = n	... 緑の調整値 (省略時、n1 使用) [n=整数 (単位%)、-100から100]
	n3 = n	... 青の調整値 (省略時、n1 使用) [n=整数 (単位%)、-100から100]
初期値	カラーバランス調整なし	

2.9 コントラスト コントラストを調整します。フィルタに与える値が負 (-) の場合、明暗の差が少なくなります。フィルタに与える値が正 (+) の場合、明暗の差がはっきりします。標準は0です。

書式	直接起動)	-co n1
	lp 起動)	con=n1
パラメータ	n1 = n	... 調整値 [n=整数 (単位%)、-100から100]
初期値	コントラスト調整なし	

2.2.10 彩度 彩度を調整しますフィルタに与える値が負（-）の場合、色みがなくなりグレーに近付きます。フィルタに与える値が正（+）の場合、色みが強く鮮やかになります。標準は0です。

書式	直接起動)	-sa n1
	lp 起動)	sat=n1
パラメータ	n1 = n	... 彩度調整値 [n=整数(単位%)、-100から100]
初期値	彩度調整なし	

2.11 明るさ 明るさを調整します。フィルタに与える値が負（-）の場合、暗くなります。フィルタに与える値が正（+）の場合、明るくなります。標準は0です。

書式	直接起動)	-br n1
	lp 起動)	bri=n1
パラメータ	n1 = n	... 明るさ調整値 [n=整数(単位%)、-100から100]
初期値	明るさ調整なし	

2.12 X方向スケール イメージのX（横）方向のスケールを指定します。
フィットオプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-xs n1
	lp 起動)	xs=n1
パラメータ	n1 = n	... X方向スケール値 [n=実数(単位%)]
初期値	実倍(100%)	

2.13 Y方向スケール イメージのY（縦）方向のスケールを指定します。
フィットオプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-ys n1
	lp 起動)	ys=n1
パラメータ	n1 = n	... Y方向スケール値 [n=実数(単位%)]
初期値	実倍(100%)	

2.14 フィット イメージのサイズを印字範囲にフィットさせます。
X方向およびY方向スケールオプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-fi n1
	lp 起動)	fit=n1
パラメータ	n1 = 0	... 印字範囲の縦横比の小さい方にフィットさせる
	1	... 印字範囲の横方向にフィットさせる
	2	... 印字範囲の縦方向にフィットさせる
初期値	フィット処理を行なわない	

2.15 X方向配置 イメージのX（横）方向の配置位置を指定します。
レイアウトオプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-x n1
	lp 起動)	x=n1
パラメータ	n1 = n	... X方向配置位置 [n=実数（単位ミリ）]
初期値	レフトマージン位置	

2.16 Y方向配置 イメージのY（縦）方向の配置位置を指定します。
レイアウトオプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-y n1
	lp 起動)	y=n1
パラメータ	n1 = n	... Y方向配置位置 [n=実数（単位ミリ）]
初期値	トップマージン位置	

2.17 レイアウト イメージのレイアウト位置を指定します。
X方向およびY方向配置位置オプションとは、排他的に取り扱って下さい。

書式	直接起動)	-la n1
	lp 起動)	layout=n1
パラメータ	n1 = 0	... 用紙の左上
	1	... 用紙の右上
	2	... 用紙の中央
	3	... 用紙の左下
	4	... 用紙の右下
初期値	用紙の左上	

2.18 イメージ補正 イメージ補正をするか否かのを指定します。

書式	直接起動)	-sp n1
	lp 起動)	special=n1
パラメータ	n1 = 0	... 補正しない
	1	... 補正する
初期値	補正しない	

3 使用例 イメージフィルタのオプションの使用例を以下に記述します。

解像度指定 印刷解像度を720dpi にしたい場合

lp (SVR4)	lp -d epm5i -y dpi=720 XX.xwd
lp (SYSV)	lp -d epm5 -o image -o "-r 720" XX.xwd
lpr (BSD)	cat XX.xwd upfepm5if -r 720 lpr -Pepm5

用紙サイズとマージン指定 用紙サイズをB5、マージンを 上 5mm / 下 17mm / 左 25mm / 右 20mm にしたい場合

lp (SVR4)	lp -d epm5i -y paper=B5 -y margin=5:17:25:20 XX.xwd
lp (SYSV)	lp -d epm5 -o image -o "-ps B5 -pm 5 17 25 20" XX.xwd
lpr (BSD)	cat XX.xwd upfepm5if -ps B5 -pm 5 17 25 20 lpr -Pepm5

ハーフトーン処理の指定 ハーフトーン処理を誤差拡散法（5x3）にしたい場合

lp (SVR4)	lp -d epm5i -y dither=1 XX.xwd
lp (SYSV)	lp -d epm5 -o image -o "-di 1" XX.xwd
lpr (BSD)	cat XX.xwd upfepm5if -di 1 lpr -Pepm5